

「生徒が輝く日本一の小規模校」を目指して  
 自立した社会人の育成(基盤づくり) ~ 「夢」・「努力(=やり抜く)」・「感謝」 ~



平成25年度矢板市立泉中学校だより【第17号】

# 中学「し、ずみ」

■発行/平成25年12月25日(水)

## 順調です！泉地区小中一貫教育

師走となる今月も泉地区小中一貫教育に関する行事が行われました。

13日(金)は6年生の中学校見学。午前中は4つの班に分かれて2時間ほど中学校の授業を見学後、生徒会役員から中学校生活の概略を聞きました。午後は、小学校で保護者同伴で直井教務から中学校生活の心構え等について話を聞きました。

16日(月)は合同の学校保健委員会。泉小学校を会場とし、本校からPTA会長さんや厚生部員さんが参加。池田校医さんのアレルギーに関する講話を聞きました。

18日(水)は小学2年生の国語「ようすをあらわすことば」の合同授業研究会。小さな児童が真剣な眼差しで教師を向き、「ハイ！ハイ！ハイ！」と元気よく手をあげる様子は、とてもかわいらしく感じられました。授業の終わりには「もっとやりたい」などの言葉が聞かれ、児童の意欲の高さが伺い知れました。

5年目になる泉地区小中一貫教育。各小中の教頭・教務による「運営委員」の企画力と実行力、そして先生方の情熱に支えられ今年もたいへん順調です。



## 12/11(水)授業参観アンケート結果

12月11日(水)の第2学期PTAで行われた授業に関するアンケートの結果をお知らせします。

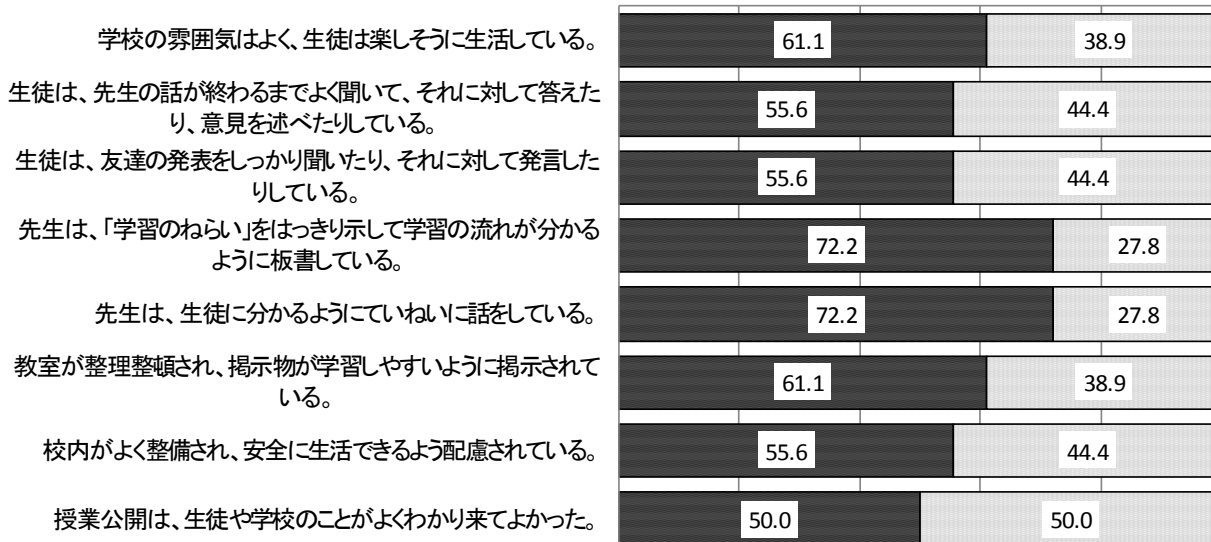
御陰様で質問項目全てにおいて「あてはまる、ややあてはまる」に回答をいただき、ありがたく思います。

現在、来年度の学校教育計画を作成中。ねらいは、これまで行ってきた体をベースとして、心と頭(真の学力)を向上させるための学校生活全般の1ランクアップです。何事もよいときが伸ばす絶好のチャンス！現在の状況を生かして可能なものを年明けとなる1月から試行し、「当たり前」の水準を少しでも引き上げたいと考えています。

保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

### 授業を参観してのアンケート 25.12.11

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■あてはまる □ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

## 今年もたいへんお世話になりました

今年も本校教育に多大なる御理解と御協力をいただき、たいへんありがとうございました。御陰様で各種調査等の結果を見ると生徒達に力がついてきていることが感じられ、たいへん嬉しく思います。

さて、去る12月11日(水)に行われた第2学期PTAに都合で参加できなかった方々がいらっしやいましたので、その時の校長の話の原稿を掲載します。これは、あくまで原稿ですので、話したことそのものではありません。しかし、本校の方向性を理解していただくために掲載します。

生徒をよくするには保護者の皆様の御協力が不可欠です。ぜひ御理解いただき、本校教育に対しこれまで以上の御協力をよろしくお願いいたします。

本日は年末のお忙しい中、第2学期PTAに御参加いただき誠にありがとうございます。今年は進路指導充実のため、例年行っていた2月の学年末PTAを冬休み前に行い、2月に1・2年生の個人面談を行う試みをしております。

したがって、全体で話をする機会は今日が最後となります。そこで、本校の今年度の振り返りと来年度の方向性をお話いたします。

まず、今年の振り返りです。

本校は昨年度の2学期から45分・32コマ授業を実施しています。これは授業時間を45分とスモールサイズにすることで、時間の有効活用を図り、生徒の「生きる力」、すなわち全人的な力を伸ばそうとするものです。御陰様で、学力調査の結果、部活動でのがんばり、各種表彰、そしてともなまりまつりと、各方面での活躍から、本校生徒の力が高まっていることが確認でき、大変嬉しく思います。これも、生徒の努力、先生方の情熱、そして保護者の方々の協力の賜物です。たいへんありがとうございました。

次は、来年度の方向性です。

昨年は「体力」を、今年は「体力」と「気力」を向上させてきました。

来年度は、「気力」と「学力」の向上となります。

学力は昨年度から始めています。それが、45分授業による3コマ増です。これは授業の「量」の増加での対応となります。導入して1年。学力調査で判断したいところですが、学力調査は毎年3年しかやりませんから、去年の自分と比べて伸びたのかどうかは不明です。一方、矢板市で実施しているトライアルテストがあります。実施して4年目になるでしょうか。これは市内の小学校3年生以上の全ての学校の全ての児童・生徒が参加しますので、本校生が昨年と比べてどうであったかを見ることができます。その点数は公表しないということですのでお知らせすることはできませんが、結果からみるとよい状態であることがわかります。

来年度はこれを継続し、今年スタートさせた「生き方タイム」をバージョンアップし「思考力・判断力・表現力」を向上させたいと思います。

しかし、学力向上には授業の「質」の向上も大切です。

まずは、生徒の授業に臨む態度です。生徒の気力や態度がよければ、教師が行う授業が同じでも、成績は上になります。来年度の柱である「学力向上」に向けて、この気力や態度の向上のために、持久力向上にプラスして、夏休み明けから実施していることがあります。それが、無言集合です。毎週行う朝礼でその徹底を図っています。最近の集合状況は誰一人としてしゃべる者なく「生徒の意識、そして実践力の高さ」を伺い知ることができます。この規律を1月からは他の学校生活にも広めることで生徒の自覚や自律を高め、授業の質の向上をめざします。

また、「教師」が行う授業の質の向上も必要です。これに関しては、音読の導入を考えています。始めの読みと、終わりの読みの質の違いを生徒が実感するためです。音読は、大変重要で義務教育では欠くことができないものと思います。御家庭でも歩調を合わせた指導をお願いします。

以上のように、本校では来年4月からの学力向上に向け、その助走として授業の量と質の充実に着手しています。これは、学力向上が一過性のものでなく継続したものとなるよう時間をかけながら「学校の体質改善」に取り組んでいることにほかなりません。

御家庭でも、今日発行した学校便り(12/11発行の学校便りNo.16)の裏面にもあるように、一定時間机に向かう習慣の定着をお願いしたいと思います。これまた、いきなりは無理です。今月は30分、1月は40分、2月は50分、3月は1時間とし、4月には誰もがじっくりと1時間机に向かうことができるよう、よろしく願いします。これはまた、生涯学習の観点からも必要不可欠なもので、社会人としてとても大事な習慣であるとともに、人生を有意義に過ごす秘訣でもあります。何卒、机に向かう習慣、この徹底を重ねてお願いいたします。

最後になりましたが、受検を控えている3年生の保護者の方々にお願いです。ラストスパートの支援、そして何より健康への気配りをお願いして話を閉じます。